

第 10 回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（北部）

日 時	平成 29 年 1 月 22 日（日）午後 3 時 06 分から午後 5 時 00 分まで	
場 所	北部公民館	
参加人数	住民参加者 23 人 議員 13 人 事務局 1 人	
地元協力団体	須賀川区	
議員役割分担	総括責任者 徳竹栄子 司会進行 布施谷裕泉 常任委員会報告者 総務産業常任委員会 西 宗亮 社会文教常任委員会 渡辺 正男 広報常任委員会 高山 祐一 議会運営委員会 高田 佳久 記録者 小林 克彦 出席議員 小林民夫・山本光俊・湯本晴彦・布施谷裕泉・西 宗亮 望月貞明・高山祐一・高田佳久・徳竹栄子・渡辺正男 児玉信治・小林克彦・小淵茂昭	
次第(担当者)	1. 開会 司会者 布施谷裕泉 2. あいさつ (1) 主催者 議長 小淵茂昭 (2) 共催者代表 須賀川区長 有賀 謙 3. 報告事項 (1) 議会常任委員会報告 ①総務産業常任委員会 西 宗亮 ②社会文教常任委員会 渡辺 正男 ③広報常任委員会 高山 祐一 ④議会運営委員会 高田 佳久 (2) 質 疑 4. 懇談事項 意見交換会 5. 閉会 司会者 布施谷裕泉	
報告事項の質疑	質問 移住定住に役立っていたリフォーム補助金制度が廃止された理由は。 回答 リフォームからマイホーム取得への補助制度に改定されたもので、所管課に詳細を確認し、あらためて回答したい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【後日回答】 この制度は 23 年度から 25 年度の 3 年間を目途に既存住宅の居住性を高めて定住促進や町内業者への育成支援などを目的に創設された「定住促進事業」であり、好評により 2 年延長しましたが、5 年間の実績で一定の成果が得られたものとの判断から 27 年度をもって見直しが行われ、28 年度から若者定住・移住の促進策をより充実することになったためです。</p> </div>	
議会に取り組んでほしいことの結果	① 観光商工振興策 0 名 ② 農林水産業振興策 1 名 ③ 子育て・教育施策 3 名 ④ 高齢者・障がい者・健康福祉施策 7 名 ⑤ 都市基盤・生活環境の整備（上下水道、道路、側溝など） 9 名 ⑥ 行財政運営・行政サービスの向上（税、窓口など） 3 名	

意見交換会での
質問と回答

質問 農業集落排水施設への接続率が低いと、接続依頼に廻っているが、良い返事がない。料金値上げもある中で、どうすればよいのか。

回答 ご理解をいただくほかないが、依頼方法の検討も必要かもしれない。

質問 接続依頼に廻ったとき、加入申し込みから年数が経過していて、現在は無理な家がある。そのような家は除いて接続率を算出したらどうか。

回答 意味は理解できるが即答できないので、検討したい。

【後日回答】

加入申し込みがあった家屋について、公共枿（ます）を設置し、その件数・区域・管渠等すべて含めて事業認可を得て補助事業を行っているため、国・県への報告や町主要施策報告書等において、分母である公共枿の設置件数を減らして接続率を計算して公表することはできないことから、計算方法を変えることはできないと考えるとの回答でした。

質問 合併浄化槽使用の家は分母から除いて算出すべきでは。

回答 事業開始時に申し込みをした家のみ数であり、含まれていない。

質問 接続依頼は、補助金を受けた合併浄化槽設置者だけで、それ以外の未接続者にも働きかけたいが、町は個人情報開示はできないとのこと。

回答 参加型の事業であり、加入者等の合意があれば開示は可能と思われる。

【後日回答】

名簿なしで接続推進に回れないとの意見が大きくなり、29年度より、加入者名簿を提出し、接続推進にあたっていく予定です。

質問 危機管理について、有線放送電話は廃止と聞いているが対応は。また、先の停電のとき、役場に停電の状況を聞いたが分からなかった。町は停電の情報を把握する手段を持っているか。

回答 戸別に無線機を配置して情報を知らせる計画で、伝達する情報は、災害時の危機管理情報のほかに何を伝達するか現在、検討中。
町は停電の情報把握の体制は特に持っていない。

質問（議員）
町では「支え合いマップ」を推奨しているが、須賀川地区はどうか。

回答（参加者）
須賀川地区では、まだ取り組んでいない。

意見（議員）
災害情報を区の役員全員が携帯電話で共有し行動している。自主防災組織が機能している。

要望 実施計画にある移住定住事業では、体験施設を建てる計画となっているが、須賀川には体験施設として利用できる空き古民家があるので新築の必要はない。また、移住定住の情報把握・提供を我々も努力しているが、町の支援がなくボランティアでの継続は厳しい。29年度も移住ツアーを町に申請しているので、応援してほしい。

意見交換会での
質問と回答

回答 空き家バンク登録件数が少ないので、ご協力ください。

要望 町に協力しているが、ボランティアだけでは続かない。空き家の所有者が遠隔地等の場合、交通費や連絡経費もかかるので助成を希望したい。

質問 議会報告会資料の事前配布はできないか。

回答 資料は1月16日に完成し、会場によっては実施している。北部会場でも事前配布できるよう調整したい。議会ホームページもご利用ください。